

ハイブリッドカーのセキュリティを考える

CAR SECURITY

大切な愛車は自分で守る！ここ最近、自動車の盗難件数は減少傾向に向かっているが、だから安心かといえばノーだ。最近、狙い打ちの傾向が強く、クルマはもちろん、車上荒らしも、特定のモデルを狙って盗むというケースが多数を占めるのだ。大切なプリウスを守るため、車上荒らしに合わないための予防策としてカーセキュリティの重要性を知っておこう。



2003年の約6万5000台をピークにクルマの盗難件数は、年々減少しはじめ、2008年は2万7000台、そして2009年は1〜10月期までで2万2000台という数字を示している。ところが、かつてはキーを付けっぱなしで放置し、被害に遭うというケースが全体の3分の1ほどであったが、近年ではその割合は4分の1ほどに減少。つまり、カギを掛けていても盗まれるクルマの割合は増えているということもいえるのだ。自動車盗難に対するユーザー意識も変わりつつあると考えられるが、自動車盗難のプロ化、そして特定のモデルを狙い打ちにする傾向も見えてくる。

都道府県別に見ると、愛知、千葉、大阪、茨城、兵庫、神奈川、埼玉、福岡、栃木、北海道がワースト10で、このエリアで全体の8割が盗まれていることになる。とはいえ、自動車盗難は減っている。この減少の大きな理由のひとつがイモビライ

専用リモコンを採用した高性能モデルから純正リモコンやCAN通信に対応した新型まで、ユーザーの使い勝手と求める機能に対応。ショックセンサーでクルマの異常を知らせたり、車内サイレンで威嚇効果の強い仕様にするなども可能だ。



PHOTO&TEXT by 上野達之 (ENO)

「クルマのセキュリティのために備えてほしい」

ユーザーの普及によるもの。もちろん、イモビライザー付きの車両も被害に遭っているのだが、その件数はイモビライザーなしに比べると、5%程度のわずかなものになっている。しかし、これまでの自動車盗難の傾向を見ると、モデルごとに盗難率が急増するケースがある。古くはリストやランドクルーザー、クラウン。最近ではハイエース、ワゴンR。ブラックマーケットの需給の関係といわれているが、盗難車市場にも人気モデル？ というのが存在し、やはり狙い打ちの傾向がある。まさか世間同様ハイブリッドカー人気なんてことにならないように祈りたい。

さて、もう一方で車上荒らしの被害も多い。ここ最近、こちらもやや減少傾向にあるのだが、自動車盗難件数のような減少カーブでなく、たとえば東京都の場合では昨年が8711件、今年平成21年は上半期で4211件と横這い。ちなみに、これは認

知件数であり、被害が警察に届けられたものの。車両盗難と異なり、未遂やクルマへのイタズラなど届け出ないで済ませるケースも多いと考えられるので、実際の被害はもっと多いと予想できる。

全国では一日1000件の自動車関連の盗難件数があり、9割以上は、車上荒らしと部品ねらい。ちなみに、自転車やバイクの盗難件数よりも、これは多い数字である。被害総額は15億7000万円、これにガラスを割られたなどの車両損壊の被害額は含まれていない。部品狙いでもっとも多いのはカーナビで半数近くをしめる。しかも、盗まれにくいような印象のあるメーカーやデーターナビのカーナビがその3分の1と大人気？ なのだ。

そんなわけで少しばかり不安になる数字を並べたけれど、減ってはいるものの、無視できるほど安心とは、とてもいえない状況なのだ。車両盗難や部品狙いの犯行時間はおどろくほど短時間。長くて20分、中には1〜2分というケースも。つまり、盗みにくいと判断されれば、泥棒は去っていくというわけだ。

つまり、自動車盗難や車上荒らしへの対策を講じることは、愛車を守るうえで大切であること、知っておいて欲しい。クルマを離れるときは必ず施錠する。暗い場所、人気がない場所、クルマを止めない。そして車内に貴重品をおいたままにしない。こうしたことをアタマに入れて、さらに強い味方になってくれるのが、カーセキュリティである。



取り付けはプロショップに任せよう

せっかく取り付けしたセキュリティが簡単に解除されてしまったのでは意味がない。相手もプロ化しているため、取り付けにも最新の注意が必要だ。プロショップでは、セキュリティ専用のネジ（性格上、頭の部分はお見せできません）を使用したり、バッテリーを外しても解除できないようにしたり、配線を工夫するなど、さまざまなノウハウで安全度の高い取り付けを行っている。また、セキュリティを取り付けたら、視覚的なアピールになるスキャナーも装着し、万全を期す。

最近では、プリウスなどの新型車のCAN-BUSに対応したデジタルの使い勝手のいいシステムも登場している。メーカーオプションでセキュリティホーンもあるが、車内サイレンやショックセンサー、超音波センサーなど社外品のセキュリティのガードの強さにはおよばない。また、割ったガラスから忍びこみ、ドアを開けずに車内を荒らすなんて犯行には、純正品では対処のしようがない。価格や仕様もさまざまで、自分の使い方や必要に応じて選べ、なおかつ機能を拡張できるのも社外セキュリティのよいところである。



VIPER3903V 価格7万9800円（工賃込み）
プリウスのCAN-BUSに対応した新世代のデジタル方式。純正のキーレス、スマートキーに連動してセキュリティのオンオフが入るので、リモコンなど付属することなく、使い勝手のいいシステム。

予算や使い勝手で選べる、信頼のセキュリティシステム=VIPER



VIPER3000V 価格15万6300円（工賃込み）
使いやすい丸形の5ボタンスマートリモコンを採用。もっとも人気のあるハイエンドモデル。リモコンによりセンサーの感度調整やドライバーごとの設定を登録できる機能なども搭載。これにデジタル傾斜センサー、バックアップバッテリー、室内サイレンを組み合わせたセットが人気。

VIPER330V 価格5万9800円（工賃込み）
コストパフォーマンスに優れたエントリーモデル。純正キーレス&スマートキーによるロック・アンロックの操作により、セキュリティが作動・解除するアナログタイプ。

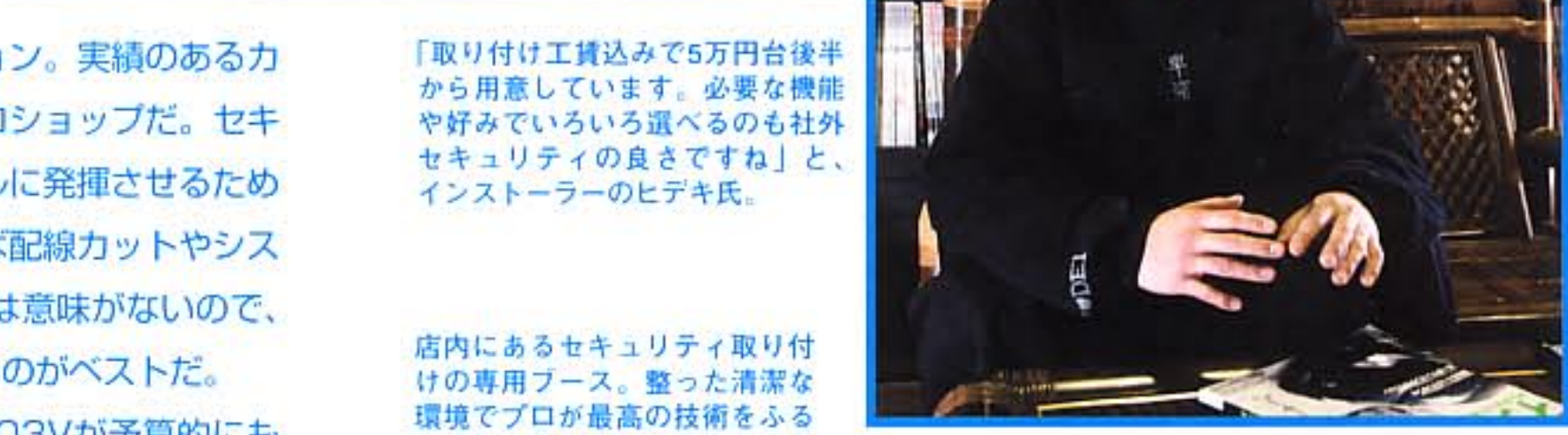
神奈川県大和市 サウンドコネクション



神奈川県大和市にあるサウンドコネクション。実績のあるカーセキュリティ「バイパー」取り付けのプロショップだ。セキュリティの取り付けは、その防犯性能をフルに発揮させるために、プロとしてのノウハウが必要。たとえば配線カットやシステム解除が出来てしまうような取り付けでは意味がないので、同店のような実績のあるショップに依頼するのがベストだ。「プリウス専用アイテム、VIPER3903Vが予算的にもパフォーマンス的にもオススメです。CAN-BUS方式の次世代型デジタルセキュリティで、純正キーレスやスマートキーと連動するタイプです。セキュリティ用のリモコンも不要で使いやすいモデルです。逆にもっとも各種センサーを追加したり、拡張性やリモコンでセンサーの感度調整をしたりという高機能を追求するなら、VIPER3000Vがオススメです。従来方式のアナログでリモコンが付属するタイプですが、もっとも人気があるセキュリティです」と、同店インストーラーのヒデキ氏。

サウンドコネクションでは、このセキュリティ以外でもプリウス関係には力を入れていてHIDヘッドランプやクルーズコントロールの後付けなども行っている。同店にはエアロやUSパーツでドレスアップしたデモカーも展示中。セキュリティはもちろん、プリウスをイジりたいという人も一度、訪れてみよう。

神奈川県大和市深見496-5 TEL.046-263-5945 定休日:毎週水曜日
営業時間:10:00~20:00 http://www.soundconnection.co.jp



「取り付け工賃込みで5万円台後半から用意しています。必要な機能や好みでいろいろ選べるのも社外セキュリティの良さですね」と、インストーラーのヒデキ氏。



店内にあるセキュリティ取り付けの専用ブース。整った清潔な環境でプロが最高の技術をふるって取り付けしている。